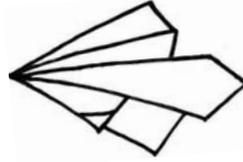


紙飛行機

こちら校長室

平成20年度 4月号



平成20年 4月22日
京都市立修学院小学校
校長 伊藤喜昌
TEL 781-4439

校長の伊藤です。どうぞよろしくお祈いします！

4年間、教頭として子どもたちや学校全体を見てきました。それを土台にして、これからは校長として、修学院小学校の子どもたちのために力を尽くしたいと考えています。ご理解・ご協力いただきますようよろしくお祈い申し上げます。

この「紙飛行機」は、校長としての思いや学校での子どもたちの様子をタイムリーに保護者の方々にお知らせしていこうというものです。あたかも、メッセージを書いた紙を飛行機にして保護者や地域の皆さんに届ける…というように。1年間、ご愛読いただき「こちら校長室」に対して「応答」願えればありがたく存じます。

まず初めに、学校教育目標について説明します。

地域のよさ・諸外国のよさを知り 人を大切にできる子どもを育てる
～地域愛・共生・生命尊重～

教育を一言で言うと「人権教育である」と言えると思います。それは、一人一人の子どもの学力を保障することも、生活する力を育てることも、全て子どもの人権を守ることになるからです。

ですから、本校の教育目標は、
進んで学び、自他を大切にできる子どもを育てる（学力の向上と人権尊重）

- ・ 仲間のよさ、地域のよさ、諸外国のよさから学ぶ。
 - ・ 学ぶ意欲をもち、学び続けるための基礎学力を身につける。
- と読むことができます。

学習で大切にしたいことの1つに「よさ見つけ」があります。仲間のよさや地域のよさ、さらには諸外国のよさを見つけることから学習を始めたり、学習を発展させたりします。よさを見つけることは、そのものの存在を認めることであり、その精神は人権尊重の基盤となります。

よさ見つけを通して、調べてみよう・やってみよう・続けてみようという学ぶ意欲をもち、進んで学び、生涯学び続けるための基礎学力を身につけ、自分も他人も大切にできる子どもを育てる。

このような願いが、この学校教育目標にはあるのです。

では、このような学校教育目標を達成するために、どのような学校にしなければならないのか、また、具体的にどのような子どもになってほしいと願っているのか、さらに、そのためにどのような教職員でなければならないのか等、「めざす姿」を明確しておかなければなりません。次回は、「めざす学校像」「めざす子ども像」「めざす教師像」についてお話をいたします。

子どもが走る！先生も走る！

春らしいさわやかな天気の中、広い運動場を子どもたちは、ドッジボールやおにごっこで走り回っています。

「いつも子どものそばにいる」を合い言葉に、子どもと一緒に走り回っている先生もいます。みんな汗いっぱいです。



「掃除」がんばっています！

子どもたちの「ほうき」の使い方は、まるで掃除機を使うように前後にキュッキュ！！家の方で「ほうき」を使う機会が少ないから仕方ないかもしれません。それだからこそ、学校の掃除の時間に正しい「ほうきの使い方」を教えたいと思っています。おうちでもほうきを使う機会があれば、見てあげてください。



「くつ箱」を外へ出しました

今まで不十分な2足制でご迷惑をおかけしました。くつ箱を渡り廊下に出しました。予算の関係で未だ小屋根はつけられず、先日の強い風雨で上ばきがぬれた子どももいました。ご迷惑をおかけしました。早急に改修するよう話を進めています。もうしばらくお待ちください。

くつ箱を外に出したことで、校舎への砂の入りが随分ましになったと思います。今後も校内清掃、環境整備に努めて参ります。

修学旅行へ行ってきました（広島～宮島～姫路：1泊2日）

- ・ 新幹線を降りる時、他のお客さんが置いていったゴミを拾って、ゴミ箱へ入れた人がいました。
 - ・ 自分たちの部屋をきちんと整理し、スリッパまで丁寧にそろえていたグループがありました。
 - ・ 平和学習で講師の方の話を真剣に聞き、その態度のすばらしさをほめられました。
 - ・ 時刻、時間がきちんと守られ、計画通りに進められました。
- など、カッコいい6年生でした。



(4/18 原爆ドーム)

でも、できないこともありました。反省し、失敗は繰り返さないでほしいと思います。6年生は始まったばかりです。この修学旅行をスタートとして、自分自身を高めるために1つ1つのことをやり遂げてほしいと思います。

歩こう会（体育振興会主催）

保護者や地域の方々と高野川～下鴨神社を歩いてきました。天気もよくいい気持ちでした。もう少し参加者が多いといいなと思いました。

(4/21 糺の森の三角州)

